

【ものづくり 人づくり 地域づくり】

生産者と会って話せる生協って、 やっぱりいいね 2013 総代会特集 (その2)



■総代会報告懇談会■ (6/27 現在の確定会場です)

※特記事項ない限り、各会場 10 時～12 時です。

- 7 月 9 日 (火) 土浦六中地区公民館
- 7 月 10 日 (水) 常総生協・本部 (守谷)
牛久中央生涯学習センター(注:14 時～16 時です)
- 7 月 16 日 (火) 利根コミュニティーセンター
- 7 月 17 日 (水) つくば春日交流センター
- 7 月 18 日 (木) 岩井公民館 (研修室)
流山生涯学習センター
- 7 月 19 日 (金) 我孫子アピスタ (工芸工作室)
取手ゆうあいプラザ (工作室)

※懇談会、産地交流会共に、詳細は後日ちらしでお伝えします。

■産地交流会■

7 月 13 日 (土)
飯尾醸造お酢の学習会
(常総生協本部)

同日
やさとの仲間交流会
(石岡市内)

7 月 27 日 (土)
鈴木牧場交流会
(石岡市内)

「おいしい！」の一言が言ってもらえる 生きがいのある仕事がしたいのです。

福島県相馬市

NPO相馬はらがま朝市クラブ

代表 高橋永真



常総生協の皆様には、震災直後から支援物資に始まり、商品販売のご協力も頂きありがとうございます。

さて、今、相馬、福島には仕事がない。というかね、やりたくても特に魚に関わる仕事なんかはまだ漁が試験操業で、魚自体が無くて仕事にならない。

試験操業が始まるとすごい報道されてね。もう復活してるよ、みたいなイメージになります。

6月は2回やってももう終わりですね。本当は週2回やろうということで、昨年6月25日から始まったんですけど、そこでいろいろな問題が出ています。要は、税金で食ってる、保証金で食ってる。そういう一部分の人という現実があります。一次産業（漁師）の方は結構守られています。そういう現実があって働く意欲が無くなっているのが現実なんです。何をやるにも、漁師の方、農業の方も、ほとんどの方、もうほとんどの方が「原発が悪い」と一言で済ませているという現実があります。

でも、やっぱり私たちは生きがいのある仕事がしたい。美味しいものを皆さんにご提供したい。みんなからお

いしいおいしいって言ってもらえるのが生きがいのある仕事になります。震災後からも「なんとかやろう」ということでね、今も加工を続けております。

先々週ですか、（職員の）井上さんたちがお見えになって「常総醤油」を持ってきてくれました。今年も2回目の2013年バージョンの「松前漬（ねぼうま）」を作らしていただきます。大豆のいい香りがして、すごくおいしい醤油なんですよね。そういう原料を使って美味しい物を作れるというのは生産者冥利に尽きます。

目の前に原料がない私たちは、皆さんの全国からのご支援ご協力を得て、新しい産物を作ってそれを仕事にして、みんなであの震災前のように、汗水流して働いて、笑顔で笑いながら、たまには喧嘩しながら。そういう人として生きようと思っております。



2013年版の松前漬「ねぼうま」は、今回7/3回 表紙16番です。

内からも外からも、常総生協を応援します。 一緒にがんばりましょう！

日本有機農業研究会

副理事長 魚住道郎

（石岡市 有機農業者）



今日は通常総代会40回目まずはおめでとうございます。よく40年間耐えてきたなと（笑）。昨年のお祝いの言葉で、良く赤字が無くなったねと褒めたところに、また赤字に転落してしまいました。本当に失言だったかなと。日本有機農業研究会と常総生協で、森里海放射能測定室を立ち上げさせて頂きました。その大半の出資が常総生協に寄りかかっています。寄り添うどころでなくて、乗りかかって寄りかかってしまって、皆さんに大変なご負担をかけてしまったなという風に思っています。

私は生産者でもありまして、福島の有機農業者もそうですが、茨城も生産者として農業を続けられるのかな、食べ続けられるのかと非常に不安があった時に生協が支えてくれました。まずはヨウ化ナトリウムのシンチレーターで計測をはじめ、それじゃあ中途半端だともっとゲルマニウム（高精度の放射能検出機）までやろう

と、どんどん出費がかさんで、こういう事態を招いた責任の一端を感じております。しかし、そのことがいま今日の皆さんのこの協同組合の活動の根幹になっているような気がします。人と人との結び付きも大事なんですけど、やっぱりある程度の検査の数値も大事にして、それをお互いに納得する共通のものにしていければと思っております。常総生協の内にもいるし、外側からもここを応援して、常総生協が日本を変える、常総生協をもっとつくっていく。



それから今お隣の席にいる（弁護士の）小室さんたちと東海第2原発訴訟の方にも原告でかかわってまして、これはもう私たちの力でどうしても止めなければいけない。これは子どもたちの未来にたいして、今僕らの責任が問われているわけで、この裁判には絶対勝ちゆかなければならない。

原告団には多くの常総生協の組合員が入っています。もっともっと皆さんの力をお借りして、この力を外にも発信し、絶対負けられない戦いをやり続けたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

東海第2原発を廃炉に。 一人でも多くの市民が原告団に。

牛久市

こむろ法律事務所

弁護士 小室光子



今日は通常総代会おめでとうございます。私は牛久市で弁護士をしております、小室と申します。

私は東海第2原発の差し止め訴訟の弁護団の方の仕事をさせていただいております。ずいぶん昔になりますが、私が高校生ぐらいの頃からですね、核と人類とは共存できないの思いをずっと持っておりました。そ

して福島の事故がおきまして、ここまでそのことが実証されたにもかかわらず原発を動かし続けているという、この国のやり方には、本当に疑問と憤りを感じております。私にできることは大変少ないのですが、できる限りのことをさせていただきたいと思っております。皆様一人でも多くの方が原告団の方にも入っていただければと思っております。よろしく願いいたします。



素晴らしい生協の組合員でおられる皆さん を羨ましく思います。

名古屋市

母乳調査・母子支援ネットワーク

代表 村上喜久子



今日は茨城県のお母さんたちの顔を見られるのをとても楽しみにしておりました。

当時、たくさんのお母さんの母乳、また赤ちゃんたちの尿から、微量ながらも放射能が検出されました。

今の政府は、チェルノブイリの10分の1とか、50分の1であるとか言いますが、これはもう1000分の1だろうと10000分の1であつてもとんでもないことだと思います。これからの子どもたちを健康被害から守ることが、今の大人の役割だという事を強く感じて

おります。国は今福島だけしか健康調査をしません。それは非常に不十分です。



こういう時に私は、常総生協さんに、国がやらないから生協がやったらどうかという、本当に無茶な電話をかけたわけですが、これを常総生協は本当に主体的に受け止めて、健康調査を実施してくれました。普通の生協はやらないです。本当に常総生協は熱い生協だと思います。みなさんも素晴らしい生協の組合員でおられることをうらやましく思います。これからも、子どもたちを健康被害から守っていきましょう。

一見厳しい、でもこんなにも暖かい生協。 これからも一緒に次世代につなぐ行動を！

常総生協業者会

会長 石原博

(株塩屋 代表取締役)



常総生協組合員の皆さん、それから職員のみなさん。我々被災地、それから生産者に対して震災よりずっとご支援ご協力を頂いたことを、厚くお礼申し上げます。昨今の中で、東北の生産者、それから皆さんがお住いになっているこの地域の放射能問題ですとか、私どもが直面している（事故前のような）出荷が出来ないという問題。こういった先が見えない不安の中で、東北の生産者、それから私たち茨城の生産者、農作物も漁業も一緒だと思いますが、大変苦しんでいる状況でございます。

何が安全で、何が危ないのか、これすらも見えない状況が今の状況だと思います。目に見えない、分からないものには考えないで蓋をして、そのまま過ぎてしまっ

ているというのが現状だと思います。

私たち生産者、それから組合員の皆様一緒になって、何が安全で、安全が確保できるのか。安心できる生活を次世代につなぐために、一緒になって考え行動して頂けたらと思います。



最後になりますが、常総生協さんのような一見厳しい、それでいてこんなに暖かい生協さんはないと思います。これからも横断的な常総生協さんの動きというのを、私たちは期待して、ご協力させていただきたいと思っております。

【常総生協 春の強化月間 ラストスパート！】 6.22 一斉チラシまき行動

組合員、職員みんなで、 地域に生協の紹介ちらしを配布しました！



守谷地区の組合員と職員でいっしょに。



竜ヶ崎、牛久地区の組合員の皆さんと職員



ベビーカーを押しながら。お子さんががんばりました！

ちらしの配布、がんばりました！

～協力頂いた組合員からの一言メッセージ～

★お会いできた方には声をかけてお渡ししました。とても素敵なお知らせでしたので、きっと多くの方の目にとめてもらえると思います。

(龍ヶ崎市 西田)

★今回は私自身が作ったちらしを配るということで、何だか大切なわが子を周りの方に紹介する感じで恥ずかしい気持ちもありながら、一枚一枚「常総生協です。よろしくお願ひします」と思いを込めて配りました。

(守谷市 板子)

ご協力頂きました組合員みなさんに、

心から感謝申し上げます。

この間の組合員みなさんの利用高、注文書の提出率増加。そして今回のちらしまき。総代会でも感じましたが、今、組合員一人ひとりの気持ちがとても伝わってきます。

後は、その気持ちを形にするのが我々職員の役目です。現在加入数が目標に達していませんので、みなさんの気持ちにこたえるよう全力で業務に取り組んでいきます。(事業部藤田)

■春の強化月間(4-6月) 状況報告 (6/27 現在)

【加入者数】 66(実績)/102(目標)

・達成率 65%で苦戦中です。

・ぜひご紹介ください。ご説明にお伺ひします！

【クッキングキャラバンの状況】

・開催回数：8会場

・来場者数：45名

・うち、組合員で無い方の参加：28名

・加入者数：7名

「旬の野菜をシンプルなお料理で楽しく頂く」をコンセプトで開催している「**JOSOクッキングキャラバン**」。商品の説明も行うことで、納得されて加入される方が多いのが特徴です。

【組合員の利用状況】

・1人あたり平均利用高：5,959円
(昨年同期：5,429) **530円増**

・注文書の回収率：89.2%
(昨年同期：83.0%) **6.2ポイント増**

●一人当たりの利用高、注文書の回収率(提出率)共に増加しています。

●月間中の新規加入者の利用高は、加入時説明をできるだけ丁寧に実施している効果もあり、昨年よりも増加しています。みなさまのご協力に感謝申し上げます。